



「エンドオブライフケア・自分らしく生きる」



平素は格別のご観覧にあずかり、誠にありがとうございます。

昨年も「今年の夏は猛暑でお彼岸を過ぎても残暑で、熱中症予防にクーラーをつけ密閉した部屋に閉じ籠る生活が続きました。」と綴りましたが、昨年より暑い日が続き、野菜と卵の高いのにはびっくり。物価高でお給料は増えても手取りが増えない。インバウンドで外資が増える事は良いでしょうが、観光客から生活の場にも進出されると落ち着かない場面が多くあります。総理大臣交代なるのか、今度はどんな人がこの国を心豊かにして下さるか楽しみでもあります。インバウンドの盛況ぶりは感染症も運んでくるので、夏バテした体には感染症クラスターリスクが高く、自ら予防は必須。今回の事例紹介は以前ご紹介した「積極的治療を望まず、自分らしく生活したい」ACP(人生会議)を経て看護です。来月号と併せてお読みいただけますと幸いです。訪問看護師は総合診療科の看護師で、とてもやりがいのある仕事。少しでも興味のある方はご連絡ください。ホームページもリニュアル掲載しております。『ネットワーク訪問ナースステーション』で検索すると、一番上に出てきますので、是非覗きにきて下さると嬉しいです。

Z様 男性 83歳 要介護2 高血圧症・慢性腎不全・貧血・脊柱管狭窄症、蜂窓織炎、難聴。認知症なし。

未婚で独居。親族とは疎遠。後見人(補助人)利用。電車やカメラ、ビデオ、ゲーム、ガチャポン、パソコンなどが趣味で、博学で心は少年。人に指図されることを極端に嫌う。電車で秋葉原や新宿ヨドバシカメラ、ドン・キホーテに行くのが楽しみと一人で出かける事が運動。難聴で受診の際、通院同行して医療的指示を医師から伺い、ご本人に説明して欲しいというのがご要望で訪問開始。円背が進み、ベッドに仰臥位で寝られないとリクライニングの椅子で就寝。仙骨部に褥瘡ができ、処置始める。お風呂がない不衛生な環境の自宅で、下肢の浮腫蜂窓織炎発症。入院するも自宅で療養したい、自宅に帰りたいと退院。何度も再炎し病院に通院。経済的にも通院の限界で、この時ACP(人生会議)を兼ねたサ担会を開催し、自宅で最期を迎えると決め、訪問診療導入。皮膚の痒みは薬を投与しても回復せず、手の施しようがないが、看護師はご本人のご意向を尊重し献身的にケアを行った。また、訪問医も親身になってご本人の気持ちに寄り添い、ご本人は訪問医を大変信頼していた。ヘルパーさん導入や福祉ベッド導入等環境整備の提案をケアマネはしたが、真っ向から拒否。ナースステーション内で否定的な意見もあったが、看護師が生活全般のサポートをすることになった。減退し息切れても電車に乗りドン・キホーテに行き、喫煙し、飲酒して、おもちゃ箱ひっくり返したような部屋で、転倒して起き上がりがれなくなっていた。「治療はこれで充分、最期までやりたいようにやらせてくれ。充分に人生楽しみ充分に生きたよ。悔いはありません」と仰った。食事、水も摂れず点滴連日行き、「お酒が飲めなくなった、いよいよだよ。」と言うので、今から救急車呼びますか・と尋ねると、「呼ばなくていい。ここで静かに休みたい。毎日ありがとうございます。今日は帰つていいよ。疲れた、少し眠りたい」と看護師を帰した。翌朝訪問すると、椅子から転落。その後医師が心肺停止を確認した。最後まで沢山の方から理解を受け、穏やかな最期を送り旅立たれた。自分の生活を貫いた方でした。「エンドオブライフケア」とは疼痛や症状のアセスメント、意思表明支援、治療の選択、家族ケア、人生のQOL、人間尊重とあり、チームワークが必須です。安心して生活が継続でき、納得して人生を生きる事に寄り添える訪問看護の仕事を誇りにしています。(橋井)

神経難病、認知症、精神疾患、がんターミナル、骨折後リハビリ等を特に得意としております。

医療のご相談や訪問看護お試しサービスを無料で行っております。

お気軽にお問い合わせください！



Facebook
開設いたしました！



その他の地域もぜひご相談ください！

訪問地域

世田谷区

松原・代田・代沢・豪徳寺・梅ヶ丘・宮坂・経堂・赤堤

杉並区

永福・和泉・浜田山・下高井戸



悩んでいる利用者様に！

無料

お試し看護あります



世田谷区松原2-41-15 203
ネットワーク訪問ナースステーション

TEL:03-6762-2272

FAX:03-676267-3703

24時間
対応

